

紹介受診重点医療機関の選定について（宇部・小野田医療圏）

資料 1

1 基準と意向が合致するもの

	医療機関名	①基準の確認 〔 初診40%以上かつ再診25%以上 〕	②意向	選定の 方向性	病床数	備考
1	山口宇部医療センター	○（初診83.0% 再診39.6%）	○	○	335	
2	山口大学医学部附属病院	○（初診91.9% 再診28.6%）	○	○	713	特定機能病院
3	宇部中央病院 （宇部興産中央病院）	○（初診59.8% 再診25.0%）	○	○	384	地域医療支援病院
4	山口労災病院	○（初診75.8% 再診25.8%）	○	○	313	地域医療支援病院

※令和5年度調整会議において選定・公表済（R5.8.1）

2 基準と意向が合致しないもの（要協議）

	医療機関名	①基準の確認 〔 初診40%以上かつ再診25%以上 〕	②意向	選定の 方向性	病床数	備考
1	山陽小野田市民病院	—（初診 <u>38.5%</u> 再診28.8%）	○	要協議	199	意向はあるが基準を満たさない場合に 参考にする紹介率・逆紹介率の水準 〔 紹介率50%以上かつ逆紹介率40%以上 〕 紹介率23.6% 逆紹介率38.4%
2	宇部仁心会病院	○（初診88.0% 再診52.1%）	×	要協議	47	
3	セントヒル病院	○（初診76.3% 再診57.5%）	×	要協議	184	
4	厚南セントヒル病院	○（初診70.7% 再診67.3%）	×	要協議	80	
5	医療法人仁心会南園クリニック	○（初診54.7% 再診45.8%）	×	要協議	19	有床診療所

3 基準と意向が合致しない理由について

(1) 意向があるもの

	医療機関名	紹介受診重点医療機関となる意向がある理由
1	山陽小野田市民病院	<p>・ 山口大学医学部附属病院の高度急性期機能を補完する一般病院、山口労災病院と小野田赤十字病院の間の中間的な急性期病院、種々の合併症患者にも対応ができる腎・透析センターを保有するとともに、産婦人科医師及びスタッフが充実した地域の中核的な分娩取扱い病院である。</p> <p>・ 重点外来に係る基準について、一部、<u>初診に係る基準を満たさなかった理由（初診38.5% 再診28.8%）</u>としては、<u>昨年度と比べて初診患者数が増えており、特に小児科の初診患者の増加が顕著であったこと、感染症の流行が持続する中、重点外来の対象となる診療を行わない小児発熱外来患者が増加したためと考えられる。</u>今後、重点外来に係る基準を満たす取組として、<u>地域の診療所からの検査の受け入れを拡大・強化し、CTやMRIといった医療機器の共同利用を進めていく。</u></p> <p>・ なお、これまででもかかりつけ医等への支援や在宅療養後方支援の機能を維持し在宅医療の支援を通じて地域医療の確保を図る役目を担っており、<u>今後も、外来機能の連携を示す、紹介・逆紹介の参考水準を満たすべく、地域医療連携室において、地域の病院・診療所からの紹介を積極的に受けることとしている。</u>（紹介率23.6% 逆紹介率38.4%）</p> <p>・ こうした外来医療の実施状況や地域における役割等を踏まえ、紹介受診重点医療機関に選定されることによって、さらなるスムーズな受診、勤務医の負担軽減、医師働き方改革につながり、住民負担が軽減されることが期待される。</p>

(2) 意向がないもの

	医療機関名	紹介受診重点医療機関となる意向がない理由
2	宇部仁心会病院	<ul style="list-style-type: none"> ・人工透析患者に対する療養及び心臓カテーテルを中心とした急性期医療を担っている。 ・重点外来に係る基準を満たしているが、これは診療科目の特性(透析診療)に伴うもの。 ・また、かかりつけ医として診てきた患者も多数存在することから、紹介受診重点医療機関を担うことによって、住民への医療提供体制に支障を来す恐れがあるため、紹介受診重点医療機関の選定を受けるのではなく、透析患者・心臓疾患患者への診療を中心に現状の医療機能を保持していくことが適切と考える。
3	セントヒル病院	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期機能、回復期機能、慢性期機能を担うこととし、4機能のうち急性期が中心である。血液浄化治療(透析)やPET-CTを中心に当院に特徴のある部分を活かして更なる地域貢献のできる体制作りをしていく。 ・重点外来に係る基準を満たしているが、これは診療科目(透析)の特性や高額医療機器・設備等の検査外来実績等に伴うもの。 ・また、当院理念として、地域に根差した医療提供を目指しており、かかりつけ医として診てきた患者も多数存在することから、紹介受診重点医療機関を担うことによって、住民への医療提供体制に支障を来す恐れがあるため、紹介受診重点医療機関ではなく、かかりつけ医機能を保持していくことが適切と考える。
4	厚南セントヒル病院	<ul style="list-style-type: none"> ・人工透析治療を主とした泌尿器科の診療が中心、一般病棟、療養病棟を持つケアミックスの病院であり、4機能で言えば慢性期寄りに位置する。 ・重点外来に係る基準を満たしているが、これは診療科目の特性(人工透析治療、放射線治療(サイバーナイフ))に伴うもの。 ・また、当院理念として、地域に根差した医療提供を目指しており、かかりつけ医として診てきた患者も多数存在することから、紹介受診重点医療機関を担うことによって、住民への医療提供体制に支障を来す恐れがあるため、紹介受診重点医療機関ではなく、かかりつけ医機能を保持していくことが適切と考える。
5	医療法人仁心会南園クリニック	<ul style="list-style-type: none"> ・人工透析患者に対する療養、外科的治療を要さない急性期脳卒中患者に対する療養、在宅医療を提供している方への療養が中心である。 ・重点外来に係る基準を満たしているが、これは診療科目の特性(透析診療)に伴うもの。 ・また、かかりつけ医として診てきた患者も多数存在することから、紹介受診重点医療機関を担うことによって、住民への医療提供体制に支障を来す恐れがあるため、紹介受診重点医療機関の選定を受けるのではなく、透析患者・脳疾患患者への診療を中心に、一般的な内科系疾患への診療も継続し、現状の医療機能を保持していくことが適切と考える。